

江戸時代の社会と地域を豊かに描く

研究者プロフィール

- ・ 文学部歴史学科 教授 兼平 賢治（かねひら けんじ）
- ・ 専門分野 日本近世史、近世古文書学、東北地域史
- ・ 研究テーマ 近世武家社会、東北の馬と鷹、北上川舟運と石碑
- ・ 所属学会 日本史研究会、地方史研究協議会、岩手史学会
- ・ 経歴 東北大学大学院文学研究科博士課程後期修了
東海大学講師、准教授を経て現職（2024年4月～）
- ・ 著書 『南部家一盛岡藩』（単著、吉川弘文館、2023年）



研究内容

岩手県で生まれ育ちましたので、岩手をおもなフィールドとしていますが、広く東北地方の歴史や文化を、地域に残る古文書を読み解いて研究しています。東北は馬産地でしたので、あらゆる身分の人とともにあった馬から、江戸時代を描く試みをしています。写真は岩手県遠野市で撮影した馬と私です。

最近では、古文書だけでなく、地域に数多く残る石碑にも関心を寄せており、石碑や古墓に使用されている宮城県石巻産の井内石の北上川舟運による流通についてフィールドワークをとおして調査・研究を進めています。



関連キーワード

盛岡藩 東北の馬と鷹 北上川舟運と石碑 自治体史 文化財 古文書 公文書

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他



地域との連携では、自治体の各種委員会の委員を務めています。また、自治体史編さんは、青森・岩手・宮城・福島と4県の自治体の編さん事業に携わってきました。宮城県公文書館に勤務していた経験を活かし、公文書の保存と管理にも助言を行っています。

公民館や市民団体などの講演会、市民の方を引率しての史跡めぐりなども積極的に行っています。写真は岩手県紫波町古文書講座のバス旅行での記念写真です。

研究者への連絡先

- ・ E-mail アドレス k-kanehira@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・ researchmapのマイポータル <https://researchmap.jp/read0103412>